

研究レポート

2014/6/20 長谷

1. 今週のToDo

① 骨芽細胞

- ・ Cr:F レーザーを光源にする▶フィルターは？
- ・ 新規サンプルの計測
- ・ コラーゲン染色像と SHG イメージの比較▶6/11 播種サンプルを2週間程度？培養し、染色する

② 黄色靱帯

- ・ 色々なデータを取得？（800 nm 透過，偏光分解など）

③ 腱リモデリング

- ・ 本実験

④ ホログラフィ

- ・ 干渉計測・縞解析の実習 by 小川

2. 実験経過

① 骨芽細胞

細胞のチャンバーへの接着が上手くいかず（6/11 播種サンプル），コラーゲン染色像と SHG イメージの比較を行うための新規細胞の準備が出来ていない。

チャンバー底のたるみを抑制するためのジグを M6 ロッドに装着できるように設計した。右図に示す。現在はチャンバーとステージを固定していないため，ステージ移動等の際，位置がずれている可能性があるため右図のようなジグが望ましい。

また，よく似た細胞培養条件で行われている先行研究の結果との比較から，本研究における骨芽細胞産生コラーゲン動態を時系列で観察するため，サンプルを4セット（セット＝コントロール＋伸展モデル）1，2，3，4週間でそれぞれコラーゲン染色を行う準備をしている。

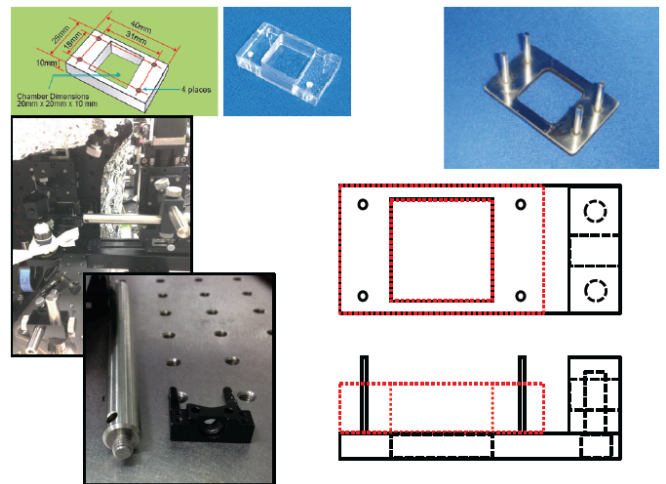


図1 チャンバー固定用のジグ

3. 今後の予定

① 骨芽細胞

- ・ Cr:F レーザーを光源にする▶フィルターが届き次第
- ・ 新規サンプルの計測
- ・ コラーゲン染色像と SHG イメージの比較▶6/11 播種サンプルを2週間程度？培養し，染色する
- ・ コラーゲン産生を確認するため，1，2，3，4週間のエンドポイントでコラーゲン染色を行う

② 黄色靱帯

- ・ 色々なデータを取得？（800 nm 透過，偏光分解など）

③ 腱リモデリング

- ・ 本実験▶乾燥防止用の生食が届き次第行う

④ ホログラフィ

- ・ 干渉計測・縞解析の実習

以上